

秋の爽やかな一日は、難波宮跡公園・森之宮・大阪城境界の施設とお店で素敵にすごしませんか!

お買い物は「レディースセレクトショップ「Sucreスクレ 森ノ宮」」
「もりのみやキューズモールBASE」のお店へ!
お食事は「菜蔵」、もりのみやキューズモールBASEの「アスジョク」、
「KKRホテル大阪」で楽しもう!



超ローカル・ミニコミ紙
発行:一般財団法人大阪市教育会館



▲ミニミニ難波宮講座の様子

745年に紫香楽宮を新築するが、反対が多く、平城京に遷都する。娘の孝謙天皇に譲位し、太上天皇となるが、756年に崩御。それとともに難波宮は歴史の舞台が薄くなっていく。

難波宮講座も、一般財団法人 大阪市文化財協会の南高雄先生に「後期難波宮と平城宮(1)」全体の形態の比較」をテーマに話していただきました。
これから、後期難波宮と平城宮、宮殿の比較を3回にわたって話をしようと考えています。

ミニミニ 難波宮講座
今回のミニミニ難波宮講座も、一般財団法人 大阪市文化財協会の南高雄先生に「後期難波宮と平城宮(1)」全体の形態の比較」をテーマに話していただきました。

1. 後期難波宮・京と平城京の歴史
平城京への遷都が710年、聖武天皇が即位したのが724年。翌年の725年に難波行幸を行い、726年に藤原宇合を知造難波宮事に任命し、難波宮の再建に取り掛かる。年表をみると、727年「難波宮造営の雇民らの税を免除」、732年「藤原宇合以下に物を賜う。難波宮造営が一段落。石川杖夫を造難波宮長官に任命」、734年「聖武天皇、難波行幸。難波宮の宅地を班給。744年「聖武天皇、難波宮に行幸。難波を首都とするが、聖武天皇は紫香楽宮へ帰る。」「政情不安定から恭仁京、紫香楽宮と遷都が行われ、745年に紫香楽宮を新築するが、反対が多く、平城京に遷都する。娘の孝謙天皇に譲位し、太上天皇となるが、756年に崩御。それとともに難波宮は歴史の舞台が薄くなっていく。

2. 平城宮(西)の中枢区画(中央区・東区)
(1) 中央区
平城京の中軸である羅生門・朱雀門の位置にある。北に大極殿地区、南に朝堂院地区がある。
大極殿地区の規模は南北320m、東西180m、北半分がレンガ積み高台、南半分が小石敷き広場。大極殿基壇は東西53m、南北30m。第1次大極殿、北側に後殿1棟がある。朝堂院と分ける南門の両側に大きな楼閣がある。大極殿地区の南側の朝堂院地区は南北280m、東西210m、2棟ずつ東西に分かれ、4棟の南北に長い基壇建物がある。南側2棟は特に長く全長90mの細長い建物である。なぜ、このような形になっているのかというところ、モデルがあった。唐の長安城の含元殿を模倣したと考えられている。702年に粟田真人らが遣唐使として派遣され、正月に行われる儀式に参加し、皇帝である則天武后にも謁見した。普通では入れない中枢施設である含元殿を実際に見ることができた。30年以上中国との交渉はなく、30年ぶりに行った唐の長安城と藤原京とはあまりにも様子が違い過ぎていて驚いた。このことも平城京遷都の一因だと考えられている。ここはどのように使われたのかということ、天皇の即位式「元日朝賀、外国使節との接見などの儀式空間で、めつたに使われることのない場所であった。

3. 後期難波宮の場合
平城宮の中央区に当たるものがなく、東区に当たるものが中軸線上の朱雀門上に配置されている。北から内裏、大極殿院、朝堂院、朝集殿(建物が見つかっていない)と配置されている。
(1) 内裏正殿(進行中の整備計画で遺構表示される)と前殿がある。
(2) 大極殿地区は東西107m、南北80mで大極殿と後殿、両者を結ぶ軒廊があり、基壇・礎石立ちになっている。
(3) 朝堂院地区は東西161m、南北178m(朝集殿含まず)で8堂の朝堂(南北6堂・東西2堂)があり、基壇・礎石立ちになっている。8堂形式は長岡京へ建物ごと引き継がれる。西側に五間門区画があり、響応の施設と考えられている。
※後期難波宮中枢部は平城宮東区を基本に、それをコンパクトにした感じである。

4. 平城宮の東張り出し部
(1) 後期難波宮の推定宮域
後期難波宮の宮域はよくわからない。前期難波宮を引き継いだとする「一辺900m説」や「一辺740m説」もともと狭いのは一辺約650m説。高橋工説で後期難波宮は一辺690m。平城宮の大きさは一辺約1km四方に、東西2500m・南北750mの東張り出し部がある。
(2) 東張り出し部を設けた意味
①中央区・東区の設置によって宮の面積が不足
張り出し部の広さは1坊(532m四方)の4分の3で12坪(1333m弱四方)分
②皇太子の宮、東宮の場所の確保
首皇子(後の聖武天皇)のための東宮を確保。天武天皇の直系の孫であり、将来を約束された特別な存在。それまでは、皇子ごとに宮外に生活の場所があった。

城遷都後、基壇・礎石立ちの大極殿が建設される。
朝堂院地区は南北409m(朝集殿院を含む)・東西178mで12堂の朝堂(南北8堂・東西4堂)があり、掘立柱建物。平城遷都後は基壇・礎石立ちの朝堂に建て替えられる。
機能としては、日常の朝政、告朔(天皇に対する1ヶ月の政務報告)、授位、任官などの政務空間。

5. 参考文獻
・奈良文化財研究所編「図説 平城京辞典」2010年、筑風社
・奈良文化財研究所編「平城京 奈良の都のまつりごと」とくらし2010年
・馬場基「平城京を探る」吉村武彦・吉川真司・川尻秋生編「古代の都なぜ都は動いたのか」2019年、岩波書店
・渡辺晃宏「平城京の構造」田辺征夫・佐藤信編「平城京の時代 古代の都2」2010年、吉川弘文館
・田辺征夫「平城京 街とくらし」1997年、東京堂出版
・高橋工「前期・後期難波宮跡の発掘成果」中尾芳治・柴原永遠編「難波宮と都城制」2014年、吉川弘文館

特別展 「川瀬巴水旅と郷愁の風景」
大正から昭和にかけて活躍した木版画家・川瀬巴水(1883-1957)「明治16」昭和32)年。近代化の波が押し寄せ、街や風景がめまぐるしく変貌していく時代に、巴水は日本の原風景を求めて全国を旅し、庶民の生活が息づく四季折々の風景を描きだしたが、新時代の木版画「新版画」を推進した版元の渡邊庄三郎(現・渡邊木版美術画館初代)や彫師、摺師といった職人たちが、四者は一体となって協業し、伝統技術を継承しながらもより高度な技術の活用を求めました。そして新たな色彩や表現に挑み続け、「新版画」を牽引する存在として人気を博します。
本展では、季節や天候、時の移ろいを豊かに表現し「旅情詩人」とも呼ばれた川瀬巴水の木版画家としての生涯を、初期から晩年までの代表的な作品とともに紹介します。また、観る機会の少ない連作(シリーズ)も含め約150点を展示し、叙情的な巴水の世界へと誘います。

急な雷雨のため、難波宮跡公園・周辺道路の清掃は中止になりました。次回(11月14日(木)15時30分から開催します。ミニミニ難波宮講座は「後期難波宮と平城宮(2)」大極殿の比較」をテーマに大阪市文化財協会の南高雄先生に講演していただきます。そのあと、難波宮跡公園・周辺道路の清掃を行います。

急な雷雨のため、難波宮跡公園・周辺道路の清掃は中止になりました。次回(11月14日(木)15時30分から開催します。ミニミニ難波宮講座は「後期難波宮と平城宮(2)」大極殿の比較」をテーマに大阪市文化財協会の南高雄先生に講演していただきます。そのあと、難波宮跡公園・周辺道路の清掃を行います。

急な雷雨のため、難波宮跡公園・周辺道路の清掃は中止になりました。次回(11月14日(木)15時30分から開催します。ミニミニ難波宮講座は「後期難波宮と平城宮(2)」大極殿の比較」をテーマに大阪市文化財協会の南高雄先生に講演していただきます。そのあと、難波宮跡公園・周辺道路の清掃を行います。

急な雷雨のため、難波宮跡公園・周辺道路の清掃は中止になりました。次回(11月14日(木)15時30分から開催します。ミニミニ難波宮講座は「後期難波宮と平城宮(2)」大極殿の比較」をテーマに大阪市文化財協会の南高雄先生に講演していただきます。そのあと、難波宮跡公園・周辺道路の清掃を行います。

急な雷雨のため、難波宮跡公園・周辺道路の清掃は中止になりました。次回(11月14日(木)15時30分から開催します。ミニミニ難波宮講座は「後期難波宮と平城宮(2)」大極殿の比較」をテーマに大阪市文化財協会の南高雄先生に講演していただきます。そのあと、難波宮跡公園・周辺道路の清掃を行います。

NPP知らせ文
難波宮・大阪城・法門坂界隈に立地する会館、ホール、飲食店などが、大阪の歴史の出発点である難波宮の顕彰と緑豊かな大阪城・法門坂地域の活性化・振興を目的として「ナニワ・ミヤ・パレス・パートナーシップ」(略称: NPP)という連携協定を結び活動しています。
2024年11月14日(木)15時30分から
法門坂ストリート・クリーンアップ作戦
第57回 日時/2024年11月14日(木)
15時30分から16時30分まで
参加費/無料(作業手袋、ゴミ袋は用意します。)
内容/ミニミニ難波宮講座のあと、難波宮跡公園と周辺道路のゴミ拾い、清掃をします。(清掃に使う作業手袋、ゴミ袋は会館で用意します)
集合/大阪市教育会館 1階会議室
申込み/お名前を財団事務局までお知らせください。(6941-0951)
今後の予定
第60回 2025年3月13日(木) 15:30~

四天王寺ワッソんなわの宮ステージ
WASSO
11月3日
日時 2024年11月3日(日)10:30~17:00
場所 史跡なわの宮跡

川瀬巴水 旅と郷愁の風景
KAWASE HASEUI 1883-1957
開館時間 午前9時30分午後5時
※火曜日休館
※入館は開館の30分前まで
会場 大阪歴史博物館 6階 特別展示室
観覧料 特別展のみ
大人 1,300円(1,170円)
高校生 700円(630円)
●常設展との共通券
大人 1,770円(1,710円)
高生 1,030円(990円)
※(内は20名以上の団体割引料金)
※中学生以下・障がい者手帳をお持ちの方へ1名あたり500円は無料

賢いチョイス!会議・各種イベントには大阪市教育会館東館を!
利用拡大・促進キャンペーン実施中 通常料金の約40%オフ

2023年7月にリニューアルいたしました「大阪市教育会館東館」です。利用拡大・促進キャンペーンを2025年3月31日まで実施中です。明るく、清潔で、快適な貸室で、各種会議・イベントを開催してはいかがでしょうか。

詳しくは、QRコードからホームページに入っていたりか、大阪市教育会館フロントにお問い合わせください。

●〒540-0006 大阪市中央区法円坂1-1-35
●大阪市教育会館フロント TEL 06-6943-5021 fax 06-6945-4833



特集展示「心齋橋ときもの 一小丸 260 年のあゆみ」

大阪の中心市街のひとつである心齋橋の老舗呉服商・小丸が、創業 260 年を区切りに本年 3 月その歴史に幕を下ろしました。本展示会では、商業地としての心齋橋の発展と呉服商・小丸のあゆみについて、約 50 点の歴史資料と近代の服飾品により振り返ります。



会期 2024年10月30日(水)~12月23日(月) 観覧料 (常設展示観覧料でご覧になれます)
※火曜日休館 大人600円(540円)、高校生・大学生400円(360円)
開館時間 午前9時30分~午後5時 ※入館は開館の30分前まで
会場 8階 特集展示室(常設展示場内)
※()内は20名以上の団体割引料金
※中学生以下・大阪市内在住の65歳以上(要証明提示)の方、障がい者手帳等をお持ちの方(介護者1名を含む)は無料

10 October 2024

1 tue	中央区生涯学習フェスタ
2 wed	9/5~10/31
3 thu	市民ギャラリー
4 fri	「秋の重慶 名作画展」
5 sat	9/10~10/20
6 sun	マジック講習会
7 mon	・バルーン講習会
8 tue	10/12(土)
9 wed	
10 thu	もりのみやキューズモールBASE
11 fri	10月12日~10月14日
12 sat	ちゃ〜(抽)選会
13 sun	
14 mon	もりのみやキューズモールBASE
15 tue	10月13日
16 wed	ちゃ〜ズモール
17 thu	
18 fri	もりのみやキューズモールBASE
19 sat	10月14日
20 sun	もりのみや運動会
21 mon	大阪歴史博物館 特別展
22 tue	「川瀬巴水 旅と郷愁の風景」
23 wed	10/5(土)~12/2(月)
24 thu	市民ギャラリー
25 fri	「市退教植物画教室作品展」
26 sat	10/24~11/26
27 sun	
28 mon	大阪歴史博物館 特集展示
29 tue	「心齋橋ときもの
30 wed	一小丸 260 年のあゆみ」
31 thu	10/30日(水)~12/23日(月)

11 November 2024

1 fri	
2 sat	
3 sun	文化の日
4 mon	振替休日
5 tue	
6 wed	
7 thu	
8 fri	
9 sat	
10 sun	
11 mon	
12 tue	
13 wed	
14 thu	
15 fri	
16 sat	
17 sun	
18 mon	
19 tue	
20 wed	
21 thu	
22 fri	
23 sat	勤労感謝の日
24 sun	
25 mon	
26 tue	
27 wed	
28 thu	
29 fri	
30 sat	

もりのみやキューズモールBASE
11月3日・4日
パン天国~2024秋~

NPP
クリーンアップ作戦
11/14(木)

ワイン講習会
11/16(土)

楽しい英語の教えかた
ワークショップ
11/24(日)

12 December 2024

1 sun	
2 mon	
3 tue	
4 wed	
5 thu	
6 fri	
7 sat	
8 sun	
9 mon	
10 tue	
11 wed	
12 thu	
13 fri	
14 sat	
15 sun	
16 mon	
17 tue	
18 wed	
19 thu	
20 fri	
21 sat	
22 sun	
23 mon	
24 tue	
25 wed	
26 thu	
27 fri	
28 sat	
29 sun	
30 mon	
31 tue	

大阪歴史博物館
特集展示
「稲作民俗事始め」
12/25(水)~2/17(月)

大阪市教育会館休館日~1/4

お問合せ・お申込み

ブルーの文化・厚生事業、習いごと広場のお申し込みは

一般財団法人 大阪市教育会館

事務局 大阪市教育会館 1階
TEL 06-6941-0951 FAX 06-6941-7474
E-mail: kaikan@zaidan.or.jp

大阪市教育研究所

事務局 大阪市教育会館 2階
法円坂教育青年文庫 2階 教育研究団体支援室 R階
TEL 06-6948-5418 FAX 06-6948-5419
E-mail: kenkyusho@zaidan.or.jp

大阪市教育会館・大阪市教育会館東館

【フロント】TEL 06-6943-5021 FAX 06-6945-4833
E-mail: annex@zaidan.or.jp

URL <https://www.zaidan.or.jp>

最寄り駅のご案内

地下鉄谷町線・中央線「谷町4丁目」駅10番出口より
地下鉄長堀鶴見緑地線・中央線「森ノ宮」駅2番出口より
JR環状線「森ノ宮」駅より 各駅より徒歩約10分

